

市場への

アクセス

Access



横浜市中央卸売市場本場

〒221-0054 横浜市神奈川区山内町1番地
 【徒歩】・横浜駅東口から 約20分
 ・京浜急行神奈川駅から 約15分
 【バス】横浜駅東口バスターミナル4番乗り場から
 市営バス48系統「中央市場前」下車
 徒歩1分



【発行者】横浜市経済局 中央卸売市場本場
 運営調整課・経営支援課

【TEL】045-459-3323 【FAX】045-459-3307

【MAIL】ke-honjyo@city.yokohama.lg.jp

横浜市中央卸売市場本場 検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/chuoshijo/shijo/tokoro/pamphlet.html>



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和8年3月作成



横浜市中央卸売市場 本場



Yokohama Market



歴史 History

- 1872(明治5)年 ● 高島嘉右衛門が4品市場(魚・鳥・獣・青物)を開設
- 1889(明治22)年 4月 ● 横浜市制施行
- 1923(大正12)年 11月 ● 中央卸売市場法施行
- 1931(昭和6)年 2月 ● 横浜市中央卸売市場業務条例施行
横浜市中央卸売市場として、神奈川区山内町に開場
青果・鳥卵・肉類(2月)、鳥類(3月)、魚類(10月)の
業務を順次開始
- 1945(昭和20)年 5月 ● 横浜大空襲で市場が一部被災
- 1948(昭和23)年 11月 ● 横浜市電中央市場線が貨物線として開業
翌年3月から旅客運行開始
- 1950(昭和25)年 12月 ● 市場拡張用地として橋本川埋め立て工事が完了
- 1954(昭和29)年 3月 ● 青果部卸売場が完成(神奈川区橋本町)
- 1959(昭和34)年 11月 ● 食肉市場が業務開始(鶴見区大黒町)
- 1966(昭和41)年 7月 ● 横浜市電中央市場線が廃止

開場当時の市場の様子(1931年)



水産のせりの様子(1961年)



青果場内の様子(1970年)



青果場外の様子(1970年)



提供:横浜市史資料室所蔵資料

- 1971(昭和46)年 7月 ● 卸売市場法施行
- 1973(昭和48)年 11月 ● 南部市場開場(金沢区鳥浜町)
- 1984(昭和59)年 11月 ● 施設の再整備により、水産棟及び関連棟が完成
- 1986(昭和61)年 9月 ● 水産買荷保管場所及び駐車場棟が完成
- 10月 ● 市場センタービルが完成
- 1988(昭和63)年 3月 ● 市場のシンボルマークである横浜市中央卸売市場CI決定
- 1990(平成2)年 3月 ● 第1回本場フェスティバル'90開催(横浜市場まつりとして継続)
- 1992(平成4)年 3月 ● 新青果棟が完成し本場の再整備が完了
- 2008(平成20)年 3月 ● 学識経験者や場内関係者による
横浜市中央卸売市場開設運営協議会が
これからの「市場のあり方」について市長へ答申
- 9月 ● 市民に水産物部を開放する地域交流事業を開始
- 2010(平成22)年 7月 ● 経営展望として「横浜市中央卸売市場の
再編・機能強化に関する基本方針」決定
- 2015(平成27)年 4月 ● 南部市場を廃止し、本場に統合
花き部は地方卸売市場として独立
- 2016(平成28)年 3月 ● 水産棟の低温化改修が完了
- 2020(令和2)年 6月 ● 改正卸売市場法施行
横浜市中央卸売市場条例施行
- 10月 ● 横浜市中央卸売市場経営展望を策定
- 2021(令和3)年 12月 ● 鳥卵部廃止
- 2026(令和8)年 3月 ● 青果部増築工事(3棟)が完成し本場の再編整備が完了



概要 Summary

横浜市中央卸売市場本場は、

全国で3番目、東日本で最初の中央卸売市場として

昭和6年2月11日に開場しました。

市場では、新鮮で多彩な「水産物」や「青果物」などを

日本国内をはじめ、世界各地から集め、370万人を超える

市民のみなさまに日々、お届けしています。

青果

水産



市場の

案内図

Map



▲至・国道15号線

滝の川

JR貨物線

宝町踏切

F3棟

F2棟

守衛所

小売棟

青果部卸売場

青果部仲卸売場

配送センター

青果棟

F1棟

市場センタービル

本場の主要な事務棟

市の事務所があり、施設の管理、卸売業者等の業務指導、取扱物品の入荷数量及び価格の公表などが行われています。

2026年3月

青果部再整備完了!

「選ばれる市場」を目指し、不足していた屋内荷捌き場や冷蔵保管庫などを再整備しました。

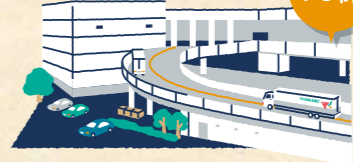
F1棟



F2棟



F3棟



一丁目一番地へ

横浜食文化の



仲卸売場では仕分けや加工も行い、飲食店や小売店に販売します。



水産物部のせり

AM4:30～。威勢のいい掛け声とともに水産のせりが始まります。複数の買い手が競争して品物の値段が一瞬のうちに決められていきます。

せり人のベルの合図でせりを開始



水産棟



魚腸骨置場
鮮魚洗場

エントランス

市場連絡通路

市場大通り

臨港幹線道路

青果部のせり

AM7:00～。横浜市場では、せりをスムーズに行うため手やりで数字を表し、価格を決めます。せり人が移動しながら行う「移動せり」も行われています。



全国各地から新鮮な旬の青果が集荷されています。



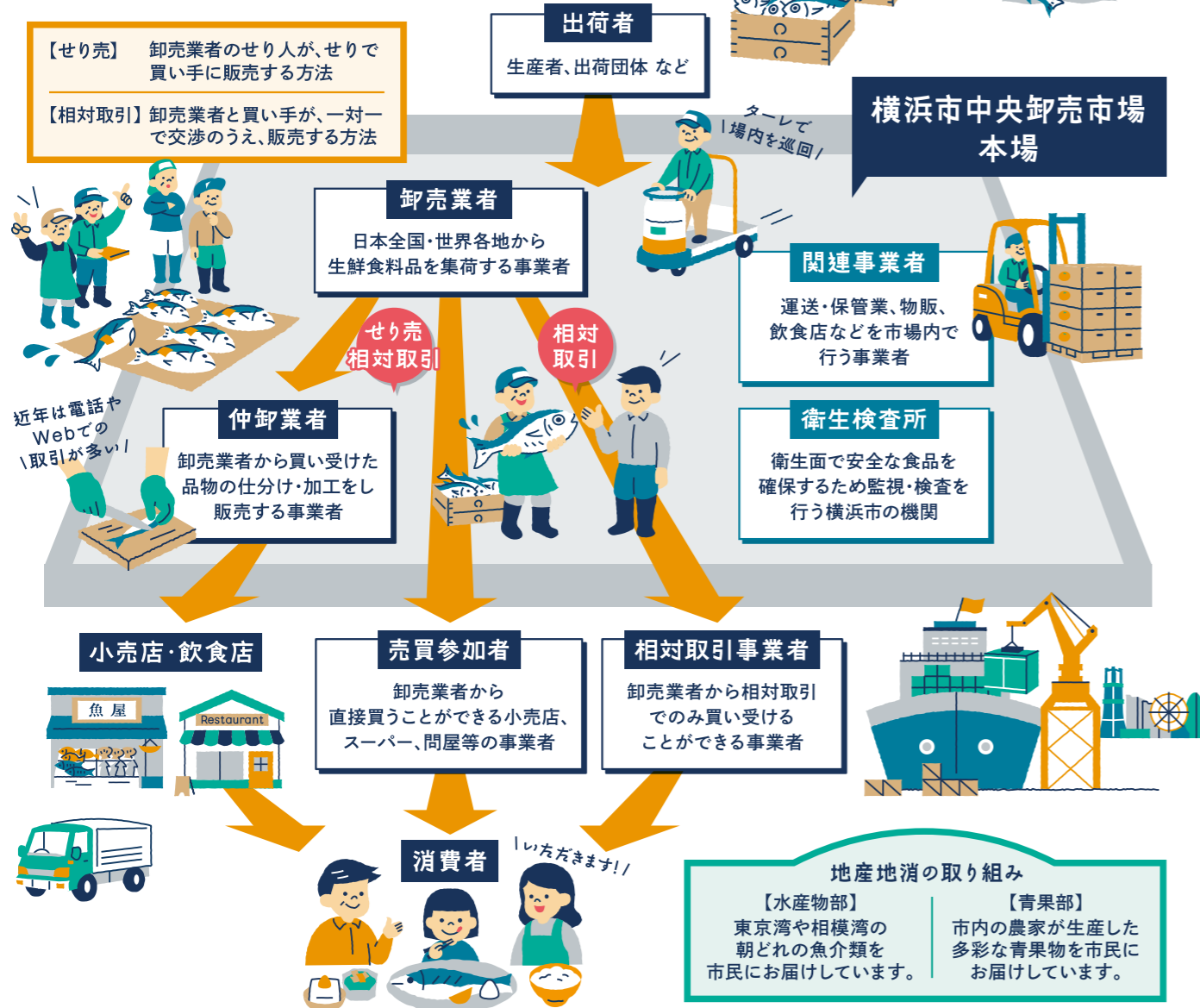
青果棟内



水産棟エントランス付近



仕組み Work flow



食育・消費促進

Promotion

出前授業・料理教室

食の大切さや楽しさを実感

市場流通などの知識を深めていただくため、青果部・水産物部では小学校へ食育出前授業を実施しています。また、水産物部では、魚食の普及や消費促進等を目的に、市場の新鮮な魚を使った料理教室も開催しています。



小学校での出前授業(青果)

料理教室の様子

一般開放・市場まつり

市民に関われた市場の取り組み

普段は買えない一般の方への販売や様々なイベントを通じて、市民の皆様が市場に足を運び、理解を深める機会を提供しています。また、毎年秋には横浜市場まつりを開催し、鮮度抜群の食材の販売や、模擬せり、マグロの解体ショーなどを行い、多くの市民の皆様楽しんでいただいています。



一般開放の様子



市場まつり

市場直送店・市場フェア

横浜市場発食材の販売先や販売量の拡大

「横浜市場直送店登録制度」とは、横浜市中央卸売市場(水産物部・青果部・食肉部)から仕入れを行っている飲食店や小売店を「横浜市場直送店」として登録し、市民の皆様へ新鮮で多彩な市場食材を知っていただく制度です。また、量販店での販売促進イベント「横浜市場フェア」の開催を支援しています。



横浜市場直送店登録制度チラシ



横浜市場フェアポスター

